

## 〈校長あいさつ〉

### 「明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒」を目指して 校長 酒井 一昭

上尾市立大谷中学校の保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

校長の 酒井 一昭（さかい かずあき）と申します。昨年度に引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

今年度は、学校教育目標を「明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒」といたしました。昨年度のものから「の育成」の文言を削らせていただきました。教師として子どもたちを「育成」することは当たり前のことであり、「育成」が目標ではなく「なっほしい生徒の姿」を中心にした、と思ったからです。小さな変更ですが、これまでの流れを踏襲しながら大切に子どもたちを育てていきたいと考えています。

最近になって、新型コロナウイルスの感染状況も沈静化し、コロナ対策も順次緩和されてきました。ようやくコロナ以前の生活に戻せていくことに感謝しているところです。その苦しい状況乗り越えてきた中、改めて振り返ってみると、学校行事等をかなり制限して取り組んできたなあ、と感じています。

そのお陰というのもおかしいかもしれませんが、「実施しなくて良いもの」「どんな状況下でも続けていかなければならないもの」「どうするかをもう一度考えてみるもの」が見えてきました。「コロナ対応によって再確認された教育活動の見直し」を計画的に進めていくことも必要だと感じています。子供たちの健康と安全を確保し、学力を保障し、心と体を育てていく。必要な学びを継続し、別の場面で出来る学びはそぎ落としていく、ICT 機器の活用をさらに推進し、「再確認した学校生活と学びの様式」を構築していく1年にしていきたいと考えています。

特別支援学級「あおば学級」も3年目となり、これまでも「個に合ったきめ細かな指導」を行ってまいりました。在籍児童数も増えることから、さらなる充実を進めていきたいと考えています。初めての3年生への指導、先を見通した進路指導や卒業に向けた準備などもしっかりと行いながら進めていきたい、と考えています。

そのためにも、昨年度の引き続き全教職員が創意と工夫を生かした積極的な学校経営への参加のもと、「個を認め・ほめ・励まし・伸ばす指導」を基本に捉えながら、一人一人の生徒が夢と希望を育みながら、様々な疑問を持ち、試行錯誤する中で達成感や充実感を味わえる学習や活動を推進し、「明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒」を育てていきたいと考えています。「自ら考え、自ら学ぶ生徒 心豊かに実践する生徒 たくましい生徒」とする目指す生徒像、大谷中スローガン「まじめ けじめ ゆめ」という「3つのめ」を大切に、教育活動を進めてまいります。

子どもたち一人一人が充実した1年を送り、新しい思い出の1ページを刻めるよう、そして、地域に誇れる安心・安全な学校づくりとなるよう、教職員一同、全力で努力して参ります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましても、「チーム大谷中」として、これまでと変わらぬ御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

